

2020年6月2日

富山県知事
石井 隆一 殿

富山県議会社会民主党議員会
代 表 菅沢 裕明
井加田 まり
岡崎 信也

県の「新型コロナ」対策に関する要望

「新型コロナウイルス感染症」に対し、県民の生命と健康、暮らし・営業を守るために、先頭に立ってご奮闘いただいていることに、心から敬意を申し上げます。

さて、県の「新型コロナ」対策は「緊急事態宣言」の解除を受け、県の対処方針に基づき、社会・経済活動の大幅緩和となる「Stage1」へ移行となりました。

こうした中で、2波・3波を想定しながら、感染拡大防止と社会・経済活動再開の両立を図るために、県の第2次補正予算案の編成に当たっては、実効性のある万全の対策を、スピード感をもって、県の独自施策を含めて実施されるよう強く要望いたします。

記

1. 検査体制拡充の推進について

積極的に感染拡大防止を図るため、感染者の早期発見につながる県の検査体制を抜本的に拡充することを求める。

- ① 県衛生研究所と富山大学のPCR検査体制を拡充すること。
- ② 県の全ての厚生センター、富山市保健所で、PCR検査が実施できるよう整備すること。
- ③ 県内医師会の協力を得て「地域PCRセンター」を拡充すること。また、民間検査機関の活用を図ること。
- ④ 唾液によるPCR検査の実施、抗原検査キットの活用などを図っていくこと。
- ⑤ 機器、試薬等の確保及び人員等の体制を早急に整備すること。

2. 医療提供体制の確保・強化について

「新型コロナ感染症」のための医療体制の確保・抜本的強化を求める。

- ① 重症者・中等症患者のためのベッドの確保について、県の病床確保計画（フェーズ2・蔓延期）を早期に達成すること。そのため、コロナ感染症専門病棟、専門病院の開設を検討すること。
- ② 軽症者のための宿泊施設（ホテルなど）を継続して確保すること。
- ③ 感染症病床を確保している医療機関への財政支援を図ること。

- ④ 防護衣やマスクなどの医療資材について備蓄を行うとともに、緊急時における県内での生産供給体制を構築すること。
- ⑤ 厳しい対応を迫られている医療従事者に対する支援を整備・拡充すること。

3. 地域経済活動への支援について

支援を必要とする事業者に必要な支援が迅速に届くことが求められている。

- ① 縦割りで複雑な国・県の支援制度について、総合窓口を設け、スピード感を持って支援を行うこと。
- ② 持続化給付金の迅速な支給、小規模事業者へも適用を拡充するよう国に対し要請すること。

4. 県民生活への支援について

(1) 学校再開後の子どもたちを取り巻く環境の変化への対応について

- ① 学習機会の確保に向けては、先生と子どもが向き合う時間を確保することを優先し、県主催行事などを見直し、現場の負担を軽減すること。
- ② 補正を活用した義務教育課程への支援に積極的に取り組むこと。
- ③ 安全・安心の学校の再開に向けて給水栓の自動化など、常時共同使用が発生する箇所の環境整備を行うこと。

(2) 子育て家庭への支援の拡充について

- ① 学童保育・こども食堂への支援を拡充すること。
- ② ひとり親世帯への支援を拡充すること。

(3) 市町村と連携し、生活困窮者への支援、生活保護の適用を積極的に推進すること。

5. 県民の雇用を守る支援について

4月末の連合アンケートによれば、県内企業の半数が、一時帰休を実施または実施を検討しており、解雇や雇止めにつながる懸念される。また、第2の就職氷河期を発生させないことが求められる。

- ① 県として、県内の雇用の実態を把握すること。
- ② 非正規者の雇用確保、雇止め防止や失業対策に万全を期すこと。

6. その他

- ① 「新型コロナ」と自然災害との「複合災害」対策について、避難所の問題などについて、検討を進めること。
- ② 感染症対策を県の危機管理の重要項目として設定し、マニュアルの整備と必要な研修・実施訓練を行うこと。
- ③ 厚生センター等の人員確保・拡充を図ること。

以上